

仕入れ価格、エネルギー関連コスト上昇が継続

人手不足、人件費の上昇など雇用関連の課題が経営環境に影響

～景況DI値は、前年同月比2.6ポイント低下のマイナス18.4～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 1月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比15.8ポイント低下のマイナス21.0、前年同月比15.8ポイント上昇のプラスマイナス0。非製造業では、前月比31.5ポイント低下のマイナス36.8、前年同月比10.4ポイント低下のマイナス5.2。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比10.5ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比21.1ポイント上昇のプラス15.8。非製造業では、DI値前月比31.5ポイント低下のプラス5.3、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス63.2。

収益状況 製造業では、DI値前月比5.2ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比同水準のマイナス36.8。非製造業では、前月比10.5ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス10.5。

資金繰り 製造業では、DI値前月比15.8ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比同水準のマイナス15.8。非製造業では、前月比21.1ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比21.1ポイント低下のマイナス15.8。

雇用人員 製造業では、DI値前月比15.8ポイント低下のマイナス21.0、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比15.8ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比同水準のプラス5.2。

景況 製造業では、DI値前月比10.6ポイント低下のマイナス42.1、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のマイナス10.6、前年同月比5.2ポイント上昇のプラスマイナス0。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比7.9ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比2.6ポイント低下のマイナス18.4となった。製造業では、一部業種で受注状況に改善の兆しが見られるも依然として原材料、光熱費等の高止まりが継続しており、収益状況は前月比、前年同月比ともにマイナスで推移するなど厳しい状況が続いている。非製造業では、年末年始の大型連休により月の前半は観光、宿泊関連では賑わいをみせたものの、月を通して好調を維持できず売上高、収益状況は前月比、前年同月比いずれもマイナスで推移した。県内景況は、ほとんどの業種で原材料等仕入れ価格の高騰、エネルギー関連のコスト上昇が継続しており、収益を圧迫する要因となっている。また、多くの業種で人手不足が深刻化しているうえ、最低賃金上昇により経費負担が増加するなど雇用関連の課題が経営環境に大きく影響しており、先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

1月の全国倒産は、件数830件で、(前年同月700件、18.6%増)と、前年同月を上回るのは戦後最長の33カ月連続となった。1月としては2014年(809件)以来、11年ぶりに800件超えとなった。なお、2024年4月—2025年1月の累計件数は8427件となり、前年同期(7277件)を1150件・15.8%上回り、2024年度は1万件超えの可能性が出てきた。

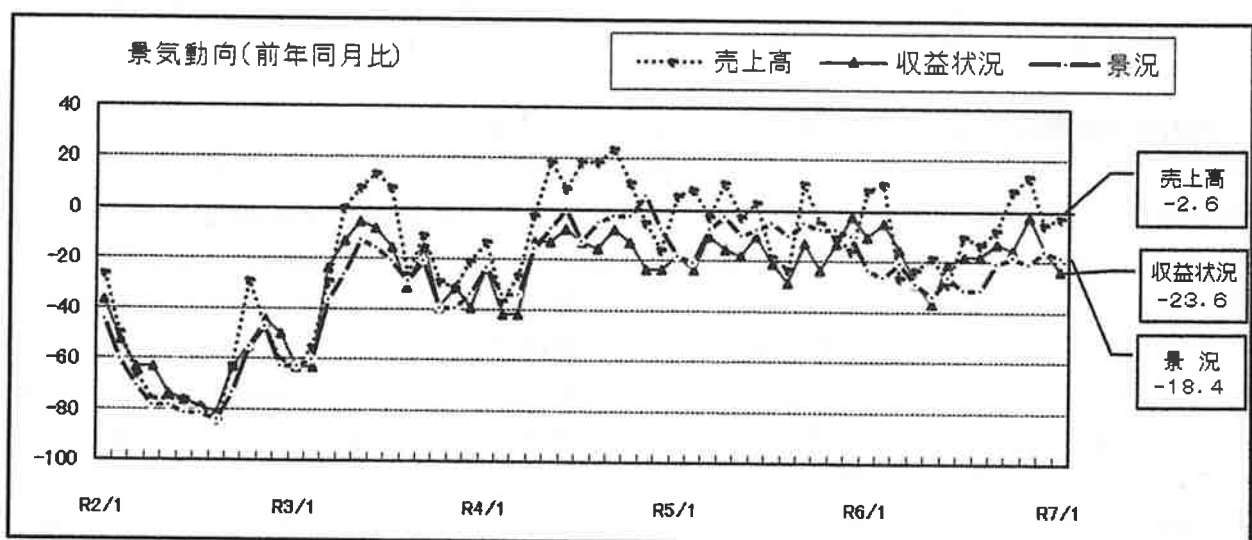
一方、1月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数3件(前月2件)、負債総額は2億4300万円(前月2億3600万円)で、業種では、卸売業2件、製造業が1件、主因は「経営者の病気・死亡」が2件、「販売不振」が1件となった。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報12月分」)

鳥取県の12月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.32倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.25倍)で、前月より0.03ポイント上回った。各所別有効求人倍率(原数値)では、鳥取所1.32倍、米子所1.57倍、倉吉所1.38倍。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.37倍(季節調整値)で、前月より0.05ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比1.1%減少し、有効求人数は1.0%増加となった。産業別に前年同月で比較すると、公務・その他(181.8%)、サービス業(9.8%)、卸売業・小売業(7.8%)で増加した。

新規求職者数は、前年同月比0.6%減少、有効求職者数は前年同月比2.8%減少となった。パートタイムの有効求人倍率(原数値)は1.32倍で、前年同月比で0.04ポイント上昇、新規求人数は前年同月に比べ0.3%減少した。



1月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	21.1%	42.1%	-21.0 -15.8	15.8%	52.6%	-36.8 -31.5	18.4%	47.4%	-29.0 -23.8
(2)在庫数量	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	8.3%	16.7%	-8.4 -25.1	6.5%	16.1%	-9.6 -6.4
(3)販売価格	15.8%	10.5%	5.3 10.5	21.1%	15.8%	5.3 -31.5	18.4%	13.2%	5.2 -10.6
(4)取引条件	5.3%	5.3%	0.0 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	2.6%	5.3%	-2.7 -2.7
(5)収益状況	5.3%	31.6%	-26.3 -5.2	10.5%	26.3%	-15.8 -10.5	7.9%	28.9%	-21.0 -7.8
(6)資金繰り	10.5%	15.8%	-5.3 15.8	0.0%	21.1%	-21.1 -21.1	5.3%	18.4%	-13.1 -2.5
(7)設備操業度	5.3%	36.8%	-31.5 -42.1						
(8)雇用人員	5.3%	26.3%	-21.0 -15.8	0.0%	5.3%	-5.3 -15.8	2.6%	15.8%	-13.2 -15.8
(9)景況	5.3%	47.4%	-42.1 -10.6	10.5%	21.1%	-10.6 -5.3	7.9%	34.2%	-26.3 -7.9

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	31.6%	31.6%	0.0 15.8	21.1%	26.3%	-5.2 -10.4	26.3%	28.9%	-2.6 2.7
(2)在庫数量	5.3%	15.8%	-10.5 0.1	16.7%	0.0%	16.7 0.0	9.7%	9.7%	0.0 0.0
(3)販売価格	31.6%	15.8%	15.8 21.1	63.2%	0.0%	63.2 5.3	47.4%	7.9%	39.5 13.2
(4)取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 0.1	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	5.3%	15.8%	-10.5 -2.6
(5)収益状況	5.3%	42.1%	-36.8 0.0	21.1%	31.6%	-10.5 -15.8	13.2%	36.8%	-23.6 -7.8
(6)資金繰り	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	0.0%	15.8%	-15.8 -21.1	2.6%	18.4%	-15.8 -10.5
(7)設備操業度	10.5%	36.8%	-26.3 -10.5						
(8)雇用人員	5.3%	42.1%	-36.8 -10.5	10.5%	5.3%	5.2 0.0	7.9%	23.7%	-15.8 -5.3
(9)景況	0.0%	36.8%	-36.8 -10.5	21.1%	21.1%	0.0 5.2	10.5%	28.9%	-18.4 -2.6

*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ LPG や電気代等光熱費の高止まりに加え、鶏卵価格が2～3割高騰しており、収益を圧迫する要因となっている。従業員を募集するも他業種との「時給競争」となり、人材確保に苦慮している。

醤油⇒ 味噌・醤油の業界は、12月の年末年始需要の反動により1月は出荷量が減少した。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 年が明け、状況は徐々に回復傾向となっている。賃上げは進んでいるものの、賃上げに伴う価格転嫁は不十分な状況。

ニット製品⇒ 実質賃金は賃上げがあっても低下しており、消費拡大に向けた減税等が必要である。衣料品消費の需要状況に大きな変化はなく、供給過剰が継続しており、国内メーカーの倒産、廃業が増加傾向にある。

【家具装備品】

⇒ 物価高騰等の影響により運送コストをはじめとする経費負担の増加が続いており業況は厳しい。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比、前年同月比ともに増加、製材品の生産量、合板の生産量は前月比で微減となった。例年に比べ雪の影響が少なかったこともあり、製材用素材(原木)の入荷量は増加となった。国産針葉樹合板や外国産材の値上げが予定され、駆け込み需要が見込まれるも新築戸数の減少など先行きの見通しは不透明であり製材品の需要にはつながっていない。プレカット加工の稼働率は前月比50%減少、前年同月比は45%減少で推移した。

【紙・加工品】

和紙⇒ 円安の影響により原材料等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比で同水準、前年同月比で増加となった。業況は引き続き厳しい。

【印刷】

⇒ 鳥取県の印刷業界は、1月の業況は前年同月比で大きな変化は見受けられなかった。年度末には卒業アルバムや官公庁の報告書などの案件が例年通り確保されているものの、紙媒体よりデータ化の案件が増加傾向にあり、業界の需要構造に変化をもたらしている。また、紙の卸業者の廃業や業務縮小が印刷業界の経営にどのような影響を与えるか注視する必要がある。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 1月の生コン出荷量は、前月比で約47%増加、前年同月比で約16%減少となった。東部地区では依然災害復旧工事案件が多く見受けられるが、その比率は徐々に減少しており、前月比は2か月連続で100%を下回った。前年同月比は災害復旧工事の影響により大幅増で着地する見込みである。中部地区では10月より4か月連続で前月比が100%を下回っており、今後も低調に推

移する見通しとなっている。西部地区では受注は年度当初低調であったが、9月以降5か月連続で前年同月比を上回っており、対前年比は110%程度で着地する見込みとなっている。業界として、若手人材の確保に苦慮している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件は少なくなっている。今後の見積案件も少なく、厳しい状況が続いている。県外物件を受注している会社に頼らざるを得ないが、それも厳しくなっている。機械加工は、なんとか凌いでいた自動機関連の受注も減っているうえ、自動車関連の受注はまだなく、状況は引き続き厳しい。

鉄骨加工⇒ 年明けと共に小中程度民間工事の見積依頼が見受けられるようになった。業界の仕事量、稼働率は春先まで維持できる見通しとなっている。鋼材価格はスクラップ料金の値下がりと同比例してピーク時より下げた価格で安定推移してきたものの、全体的に物件数は少なく規模的にも物足りない状況で先行き不透明感が続いている。元請けのゼネコンからの新規案件は見積価格が優先的になっているため契約内容を吟味する必要性が高まっている。

金属熱処理⇒ 1月の受注状況は前年、前々年と比較し、各社で受注量が増加したわけではないが、特定の顧客からの受注が増加したため生産量が大きくなった。基本的に自動車、建機、農業機械等も低迷状態を脱していない。航空機関係が回復しているが熱処理を必要としない部品が好調となっている。電気、ガスのエネルギー関連の経費は引き続き利益率の低下を招いている。

【電気機械器具】

⇒ 年明け後も業界は低迷したままである。設備投資の予定も先行きが不透明であるためほとんどない。人員確保のための資金確保が必要であるが、採用後の安定雇用につながるかが課題となっている。経費ばかりがかさみ収益確保は容易ではない状況となっている。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、例年開場日が少ないこともあり、前月比では売上高、取扱数量ともに大きく減少している。前年同月比の売上高は前月に続き葉物野菜を中心に単価の上昇により大きく増加しているが、取扱数量は単価の上昇の影響を受け消費流通が悪くなり減少している。鮮魚関係では、親ガニの漁期終了に伴い前月比では売上高、取扱数量ともに減少している。前年同月比では、取扱数量が増加したことにより売上高も増加した。

中部地区⇒ 民間ではWindows 10のサポート終了が10月に迫り、パソコン入れ替えの案件に動きが見られる。物価高や燃料費の高騰は大きな打撃となっており、設備投資などに二の足を踏む企業も少なくない。

西部地区⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなっているうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げにより各金融機関の利上げ基調が強まってきており、今後の影響が危惧される。

水産物⇒ 1月は九州地区からのサバの入船もあり1日の水揚げ量が1,000tを

超える日も数日あったが、月を通して時化荒天が続き他の魚種は不漁であった。結果、小型サバの水揚げ量は昨年を超えたもののアジ・ブリ類の水揚げが乏しく水揚金額は前年同月比で大きく減少した。近海物も時化の影響を受け底引き、松葉ガニとともに低調な水揚げとなった。紅ズワイガニは昨年に比べ水揚げ量が8割程度にとどまり、松葉ガニの不足感から鮮魚用の上物は高値となり、加工用のカニも浜高で推移した。

リサイクル原料⇒ 県内他地区から同業者の進出もあり苦慮している。売上高は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、1月は商店街での特別なイベント等もなく経費負担の増加による消費マインドの低下は街区店舗にも大きく影響が出てきており、年末で閉店した店舗や今後閉店を予定している店舗もある。正月休みもあり飲食店や宿泊関係は賑わったものの、小売関連は厳しい正月となった。年末年始の集客はあったものの、月を通して消費を押し上げるほどではなかった。米や野菜などの高騰が続き、原材料高、光熱費の上昇、原油高、人件費の上昇など経費負担の増加要因は改善されず、ますます厳しさを増している。販売価格に転嫁することも難しく、転嫁すればかなりの確率で客離れを起こしている。特例で据え置きとなっていたコロナ融資の返済が迫るなど先行き不透明な状況が懸念される。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、1月はイベントもなく、気温の低下により人流は減少した。商店街では個店の廃業や移転などが目立っている。鳥取県立美術館のグランドオープンに向け、「アートで街おこし」をテーマにイベントを計画している。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、1月は年末年始の気候も良く帰省客の移動も活発で店舗への入店数も増加した。正月休み明け以降は気温の低下により人流が減少し飲食店にとっては厳しいシーズンとなった。

境港市の水産物小売では、1月は例年同様に年末商戦も終わり一気に閑散期を迎え、来場者、売上ともに大きく減少した。今年はインバウンドの回復の兆しが見え始めたこともあり、今後の行方に期待が持たれる。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、年末年始に好天が続き、最大9連休という好条件も重なり年始から多くの観光客が訪れ、幸先のいいスタートを切った。また、春節による外国人観光客も多く、昨年、コロナ禍以前よりも増加した。観光バスの団体が土日は例年より多く、年間で最も売上が落ちる月であるにも関わらず売上高、入込数ともに前年同月比で増加した。

米子市のホテル・旅館では、依然として人手不足が続いており厳しい状況が続いている。売上高は前月比で減少、前年同月比で同水準となった。

三朝温泉では、年明けは多くの観光客で賑わった。月の後半にかけて外国人観光客が徐々に増加傾向となっている。宿泊は伸び悩むものの、日帰り客は増加してきている。

羽合温泉では、1月の宿泊は前月比で約3割減少、前年同月比で同水準となった。年末年始が大型連休となり宿泊に偏りが出たものの、宿泊状況は例年並みとなった。

【自動車整備業】

⇒ 1月の新車販売は普通車・軽自動車を含めて1,785台で前月比は普通車1.1%の減少、軽自動車8.3%の増加、前年同月比は普通車13.4%、軽自動車19.3%の増加であった。中古車は普通車・軽自動車を含めて473台で前月比10.9%の減少、前年同月比8.2%の増加であった。継続検査(軽自動車を含む)は13,433台で前月比0.5%の減少、前年同月比4.2%の増加であった。

【建設業】

⇒ 12月の県内公共工事発注(西日本建設業保証㈱保証取扱)は、請負金額22億円(前年同月比62.8%減)、件数52件(同52.1%減)となった。年度累計(令和6年4月~令和6年12月)は、請負金額779億円(前年同月比3.9%増)、件数1,503件(同8.4%増)となった。公共投資は単月では2か月ぶりの前年同月比マイナス、年度累計はプラスが続く。設備投資は単月で前年同月比プラス、3か月平均は前年同月比マイナスが続く。住宅投資は単月、3か月平均ともにマイナスとなった。深刻な人手不足により受注量、採算、専門人材育成などに影響が続いている。

12月の鳥取県新設住宅着工戸数は177戸(持家145戸、貸家32戸)で、前月比14%減少、前年同月比20%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 1月の物流は、全体の輸送量としては軟調な動きとなった。荷物の不足傾向は徐々に解消され、運行の効率は改善されてきたが、中旬ごろから荷物の不足が目立ち始め徐々に運行の効率が悪化していった。売上は前月比では増加しているものの、前年同月比では減少しており、慢性的なドライバー不足の問題に苦慮している。燃料価格や人件費などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしており、2024年問題の影響はまだまだこれからといった見方もある中で、今後も厳しい状況に変わりはない。

西部地区⇒ 1月は燃料価格については、前月に引き続き燃料油価格激変緩和補助金の縮小に伴う価格上昇ため大幅なコスト上昇を強いられており、収益状況は悪化の一途をたどっている。輸送業務においても果実関連の生産者の減少や害虫被害による減少が見受けられ、一部工業生産に明るい兆しが見られたものの一時的な増加に留まり、非常に厳しい状況が続いている。今後最低賃金引き上げに伴う人件費の増加、恒常的な人手不足が懸念される。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・デジタルツールの導入支援のほか、紙の卸売業者の影響を受ける印刷事業者への支援により業界の安定を図ってほしい。【印刷業】
- ・電気料金の値下げを望む。【金属熱処理業】
- ・景気対策として消費税減税、社会保障関連等の負担軽減を図る政策を打ち出して欲しい。【商店街】
- ・イベント等への支援に向け予算措置を望む。【商店街】

最近の指標の前月比D Iの推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
売上高	製造業	-15.8	-10.5	-5.3	-15.7	-26.3	5.3	10.5	-36.9	42.0	26.3	-10.5	-5.2	-21.0	-5.2
	非製造業	-36.8	15.8	57.9	-15.8	15.8	-31.6	15.7	31.5	-47.3	21.0	15.7	-5.3	-36.8	0.0
	全業種	-26.3	2.6	26.3	-15.8	-5.3	-13.1	13.2	-2.6	-2.6	23.7	2.6	-5.2	-29.0	-2.7
在庫数量	製造業	0.0	-5.2	-10.5	-15.8	10.5	-5.2	21.1	-10.5	5.3	0.0	15.8	-15.8	-10.5	-10.5
	非製造業	0.0	8.3	8.3	16.7	8.3	-8.3	0.0	16.7	-25.0	0.0	8.4	16.7	-8.4	-8.4
	全業種	0.0	0.0	-3.2	-3.2	9.7	-6.5	12.9	0.0	-6.4	0.0	12.9	-3.2	-9.6	-9.6
販売価格	製造業	5.3	10.5	5.2	0.0	-5.2	0.0	5.2	10.5	10.5	5.3	5.2	-5.2	5.3	0.0
	非製造業	0.0	10.5	0.0	21.1	21.1	15.8	0.0	26.3	5.3	21.0	42.1	36.8	5.3	5.3
	全業種	2.6	10.5	2.6	10.6	7.9	7.9	2.6	18.5	7.9	13.2	23.6	15.8	5.2	2.6
取引条件	製造業	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3
	非製造業	0.0	5.3	5.3	-5.3	-10.5	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	5.3	0.0	-5.3	-5.3
	全業種	-2.6	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	0.0	-2.6	-2.6	2.6	2.6	0.0	-2.7	-0.1
収益状況	製造業	-21.1	-15.8	-10.6	-21.1	-31.6	0.0	-5.3	-36.8	-15.8	-26.3	-42.1	-21.1	-26.3	-5.2
	非製造業	-31.5	15.8	31.6	-10.6	-5.3	-21.0	15.8	21.0	21.0	10.5	21.1	-5.3	-15.8	15.7
	全業種	-26.3	0.0	10.6	-15.8	-18.4	-10.5	5.3	-7.9	-18.4	-7.9	-10.5	-13.2	-21.0	5.3
資金繰り	製造業	-5.2	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	5.2	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-21.1	-21.1	-5.3	-0.1
	非製造業	-26.3	0.0	15.8	-5.2	0.0	-15.8	0.0	15.8	-10.5	15.8	15.8	0.0	-21.1	5.2
	全業種	-15.8	-10.6	2.6	-7.9	-5.3	-5.2	-5.2	5.3	-7.9	2.7	-2.6	-10.6	-13.1	2.7
設備操業度	製造業	-15.8	-5.3	0.0	-10.6	-10.6	5.3	-5.3	-31.5	0.0	5.3	-5.2	10.6	-31.5	-15.7
雇用人員	製造業	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	5.3	-5.2	-15.8	-10.5	-5.2	-5.2	-5.2	-21.0	-5.2
	非製造業	-15.8	0.0	15.8	5.3	10.5	-10.5	0.0	10.5	-10.5	0.0	5.3	10.5	-5.3	10.5
	全業種	-15.8	-5.3	2.6	0.0	2.6	-2.6	-2.6	-2.6	-10.6	-2.7	0.0	2.6	-13.2	2.6
景況	製造業	-15.8	-26.3	-10.5	-15.8	-31.5	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-31.5	-42.1	-26.3
	非製造業	-36.8	0.0	31.5	0.0	-5.3	-31.5	0.0	0.0	-21.1	0.0	15.8	-5.3	-10.6	26.2
	全業種	-26.3	-13.1	10.6	-7.9	-18.4	-23.6	-15.0	-13.1	-23.7	-13.1	-10.5	-18.4	-26.3	0.0

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
売上高	製造業	-15.8	-26.3	-42.1	-47.4	-31.6	-26.3	-26.3	-47.4	-21.1	-10.5	5.2	-15.8	0.0	15.8
	非製造業	31.6	47.4	-10.5	0.0	-5.2	-31.5	5.2	21.1	5.3	26.3	21.0	5.2	-5.2	-36.8
	全業種	7.8	7.8	-26.3	-23.7	-18.4	-28.9	-10.5	-13.2	-7.9	7.9	13.2	-5.3	-2.6	-10.4
在庫数量	製造業	-21.1	-15.8	-26.3	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-15.8	-21.0	-15.8	0.0	-10.6	-10.5	10.6
	非製造業	16.7	16.7	25.0	0.0	8.3	-8.4	-8.3	25.0	8.3	16.7	25.0	16.7	16.7	0.0
	全業種	-6.4	-3.2	-6.4	-6.4	0.0	-3.2	0.0	0.0	-9.6	-3.2	9.7	0.0	0.0	6.4
販売価格	製造業	5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	26.3	15.8	0.0	-5.3	15.8	10.5
	非製造業	42.1	47.3	52.6	47.4	47.4	31.6	26.3	42.1	36.8	42.1	57.9	57.9	63.2	21.1
	全業種	23.7	21.0	23.7	23.7	21.1	13.1	13.1	21.1	31.6	28.9	28.9	26.3	39.5	15.8
取引条件	製造業	-15.8	-5.2	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-5.3	-5.2	10.6
	非製造業	-10.5	0.0	-15.8	0.0	-5.3	0.0	-10.5	-5.2	0.0	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	-5.3
	全業種	-13.2	-2.6	-13.2	-5.3	-10.6	-5.2	-10.6	-7.9	-7.9	-10.6	-2.6	-7.9	-10.5	2.7
収益状況	製造業	-26.3	-36.8	-21.1	-36.9	-42.1	-21.0	-26.3	-42.1	-26.3	-36.9	-26.3	-36.8	-36.8	-10.5
	非製造業	5.3	26.3	-10.5	-21.1	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	0.0	5.2	21.1	5.3	-10.5	-15.8
	全業種	-10.5	-5.2	-15.8	-29.0	-36.9	-21.0	-18.4	-18.4	-13.2	-15.8	-2.6	-15.8	-23.6	-13.1
資金繰り	製造業	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-10.5	-10.5	-26.3	-15.8	-10.9	-10.5	-15.8	-15.8	15.8
	非製造業	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-31.5	-21.1	-10.5	-10.5	5.3	5.3	10.5	5.3	-15.8	-15.8
	全業種	-15.8	-18.4	-21.1	-21.0	-26.3	-15.8	-10.5	-18.4	-5.2	-2.6	0.0	-5.3	-15.8	0.0
設備操業度	製造業	0.0	-10.6	-21.1	-31.5	-26.3	-5.3	-21.0	-31.6	0.0	-5.3	0.0	-15.8	-26.3	-26.3
雇用人員	製造業	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	-15.8	-26.3	-10.6	-15.8	-31.5	-21.1	-21.0	-26.3	-36.8	-5.2
	非製造業	0.0	-5.2	5.2	-5.2	5.2	-15.8	5.2	5.2	5.2	5.3	0.0	5.2	5.2	5.2
	全業種	-15.8	-15.8	-7.9	-7.9	-5.3	-21.0	-2.7	-5.3	-13.2	-7.9	-10.5	-10.5	-15.8	0.0
景況	製造業	-31.6	-42.1	-21.1	-36.8	-31.6	-21.1	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-36.8	-5.2
	非製造業	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-36.8	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	0.0	-5.2	-5.2	0.0	15.8
	全業種	-23.7	-26.3	-21.1	-28.9	-34.2	-26.3	-31.5	-31.6	-21.0	-18.4	-21.1	-15.8	-18.4	5.3

情報連絡員報告総括表(令和7年1月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0
繊維工業	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	1	2	0	2	1	0	2	1	0	1	2
木材・木製品	1	1	2	0	4	0	2	2	0	0	3	1	0	3	1	0	4	0	2	0	2	2	0	2	2	0	2
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
出版・印刷	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
鉄鋼・金属	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	2
一般機器	2	1	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3
電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
輸送用機器																											
その他																											
19	4	7	8	1	15	3	3	14	2	1	17	1	12	6	2	14	3	1	11	7	1	13	5	1	13	5	9
100%	21.1%	36.8%	42.1%	5.3%	78.9%	15.8%	15.8%	73.7%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	63.2%	31.6%	10.5%	73.7%	15.3%	5.3%	57.9%	36.8%	5.3%	68.4%	26.3%	5.3%	47.4%	47.4%	
卸売業	1	4	1	0	6	0	1	5	0	0	6	0	1	5	0	0	6	0			0	6	0	1	5	0	
小売業	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1			0	0	1	0	0	1	
商店街	0	2	2	1	2	1	1	3	0	0	4	0	2	2	0	2	2				0	4	0	0	0	2	
サービス業	1	0	4				1	2	2	0	5	0	4	1	0	4	1				0	5	0	1	4	0	
建設業	0	0	1				0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0	
運輸業	1	0	1				1	1	0	0	2	0	1	0	1	0	2				0	2	0	0	1	1	
その他																											
19	3	6	10	1	8	2	4	12	3	0	18	1	2	12	5	0	15	4			0	18	1	2	13	4	
100%	15.8%	31.6%	52.6%	8.3%	66.7%	16.7%	21.1%	63.2%	15.8%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	78.9%	21.1%			0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	68.4%	21.1%	
38	7	13	18	2	23	5	7	26	5	1	35	2	3	24	11	2	29	7	1	11	7	1	31	6	3	22	13
100%	18.4%	34.2%	47.4%	6.5%	74.2%	16.1%	18.4%	68.4%	13.2%	2.6%	92.1%	5.3%	7.9%	63.2%	28.9%	5.3%	76.3%	18.4%	5.3%	57.9%	36.5%	2.6%	81.6%	15.6%	7.9%	57.9%	34.2%

情報連絡員報告総括表(令和7年1月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
食料品	1	0	1	0	1	1	2	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	0	0	1	1		
繊維工業	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1			
木材・木製品	1	2	1	1	3	0	2	2	0	0	3	1	0	2	2	1	2	1	0	1	3	0	2	2			
紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0			
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0			
化学ゴム																											
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			
鉄鋼・金属	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	1	0	2	1	0	1	0	0	2			
一般機器	2	1	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	3	0			
電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1			
輸送用機器																											
その他																											
19	6	7	6	1	15	3	6	10	3	1	16	2	1	10	8	2	10	7	1	10	8	0	12	7			
100%	31.6%	36.8%	31.6%	5.3%	78.9%	15.8%	31.6%	52.6%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	52.6%	42.1%	10.5%	52.6%	36.8%	5.3%	52.6%	42.1%	0.0%	63.2%	36.8%			
卸売業	1	4	1	1	5	0	3	3	0	0	6	0	1	4	1	0	6	0	1	5	0	1	5	0			
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			
商店街	0	2	2	1	3	0	2	2	0	0	3	1	0	2	2	0	2	2	0	3	1	0	2	2			
サービス業	3	2	0				5	0	0	1	2	2	3	2	0	5	0		1	4	0	3	2	0			
建設業	0	0	1				1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0			
運輸業	0	1	1				1	1	0	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	2			
その他																											
19	4	10	5	2	9	0	12	7	0	1	14	4	4	9	6	0	16	3	2	16	1	4	11	4			
100%	21.1%	52.6%	26.3%	16.7%	75.0%	0.0%	63.2%	36.8%	0.0%	5.3%	73.7%	21.1%	21.1%	47.4%	31.6%	0.0%	84.2%	15.8%	10.5%	94.2%	5.3%	21.1%	57.9%	21.1%			
38	10	17	11	3	24	3	18	17	3	2	30	6	5	19	14	1	30	7	3	26	9	4	23	11			
100%	26.3%	44.7%	28.9%	9.7%	77.4%	9.7%	47.4%	44.7%	7.9%	5.3%	78.9%	15.8%	13.2%	50.0%	36.8%	10.5%	52.6%	36.8%	7.9%	68.4%	23.7%	10.5%	60.5%	28.9%			

